



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS

上場取引所 東

コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8091

四半期報告書提出予定日 2019年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,633	19.0	830	392.5	765	396.7	433	521.6
2019年3月期第1四半期	3,892	7.5	168	33.3	154	34.7	69	27.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 464百万円 (597.8%) 2019年3月期第1四半期 66百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.34	
2019年3月期第1四半期	0.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,457	7,421	48.0
2019年3月期	15,290	7,474	48.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 7,421百万円 2019年3月期 7,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		1.00	1.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、2020年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の2020年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は1円00銭となります。詳細は、5月7日公表の「株式併合および定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	12.3	1,250	78.8	1,230	74.0	800	113.0	2.45
通期	18,400	4.6	2,750	8.8	2,710	13.5	1,770	93.1	5.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	332,527,514 株	2019年3月期	332,527,514 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	11,978,146 株	2019年3月期	6,581,971 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	324,237,837 株	2019年3月期1Q	325,946,213 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては[添付資料] P 4 . 「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2019年3月期において、2018年6月8日に公表した中期経営計画で掲げた売上高及び利益額の数値目標を2年前倒しで達成いたしました。これに伴い、今期（2020年3月期）から2022年3月期までの3か年を対象期間とした新たな中期経営計画（ローリング方式）を策定し、5月7日に公表いたしました。

当社グループは、2017年10月の持株会社体制への移行を機に、各事業における責任体制の明確化、事業間のシナジー効果の最大化、機動的な組織運営、コーポレートガバナンスの強化等、事業環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できる組織体制の整備に取り組んでまいりました。その効果は業績数値にも着実に反映してきており、当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）においても引き続き、さらなる事業の成長に向けた基盤形成を行うとともに、積極的な事業活動を推進しました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上面では、主力のブライダルジュエリー事業が好調に推移したことにより、売上高は46億33百万円を計上し、前年同期比では19.0%の増収となりました。また、利益面でも、主力のブライダルジュエリー事業の増収に伴う増益に加え、全身美容事業の収支改善により、営業利益は8億30百万円（前年同期比392.5%増）、経常利益は7億65百万円（前年同期比396.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億33百万円（前年同期比521.6%増）となり、いずれも前年を大幅に上回る成果をあげることができました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① ブライダルジュエリー事業

当第1四半期連結累計期間におけるブライダルジュエリー事業の売上高は35億69百万円（前年同期比39.6%増）、セグメント利益は9億94百万円（前年同期比152.2%増）となりました。国内においては、テレビCMやWEB広告等による集客の成功により来店客数が昨年以上に増加すると同時に、各種イベント、フェアの成功による売り上げの増加、販売スタッフの能力向上や店舗管理の改善、新規出店などにより、小売業としての魅力が向上し、お客様に高い評価で受け入れられたことがあります。

また、当社のジュエリーブランドの一つエクセルコ ダイヤモンドについては、今年がベルギーのダイヤモンドカッターの名門トルコウスキー家の4代目当主で、数学者でもあったマーセル・トルコウスキーが、現在、世界的に広く普及しているダイヤモンドの基本的なデザインであるアイデアル ラウンド ブリリアントカットを発表してから100年目に当たるため、様々な記念イベントの開催やプロモーションを実施して、ブランド価値のさらなる向上を目指しております。

ブライダルジュエリー事業においては、海外出店を積極的に行い、複数エリアでの出店による営業展開を軌道に乗せるべく組織体制の充実を図っております。国内以外のマーケットでの新しい顧客へのアプローチは、将来の重要な営業基盤を作っていくための施策として、積極的に進めております。

新規の店舗展開としては、2019年6月に、エクセルコ ダイヤモンド ヒルトン福岡シーホーク店をリニューアルし、銀座ダイヤモンドシライシを併設したブランド統合店舗としてオープンしました。海外でも、台湾で4店舗目となる銀座ダイヤモンドシライシ 新光三越桃園駅前店をオープンしました。2019年6月末における「銀座ダイヤモンドシライシ」の国内店舗は45店舗、海外店舗は4店舗、「エクセルコ ダイヤモンド」の国内店舗は28店舗、海外店舗は1店舗となりました。

② 全身美容事業

当第1四半期連結累計期間における全身美容事業の売上高は7億67百万円（前年同期比23.5%増）、セグメント利益は21百万円（前年同期はセグメント損失1億18百万円）となりました。

全身美容事業につきましては、売上拡大及び利益率の改善を図るための施策として、顧客層の見直し、商品構成の変更、化粧品事業の強化、広告宣伝費の見直し等に継続的に取り組んでまいりました結果、当第1四半期連結累計期間において利益ベースで黒字復帰し、前年同期比で増収増益を達成することができました。2019年6月末における国内店舗は25店舗、海外店舗は1店舗であります。

③ アート事業

当第1四半期連結累計期間におけるアート事業の売上高は2億37百万円（前年同期比58.9%減）、セグメント損失は14百万円（前年同期はセグメント利益21百万円）となりました。

アート事業を運営する株式会社ニューアート・フィンテックにおいては、現在、アートと金融を融合させる新規事業の立上げに注力しており、絵画取引については、当第1四半期においては積極的な展開を行っておらず、期間中の絵画取引は前年と比較すると実績値としては低調に終わりました。

アート事業につきましては、生活と美、生活とアートを近づけ、生活のあらゆる場面で美を楽しむことができる豊かな社会の実現を目指す当社グループとして、今後ますます注力すべき分野と位置づけております。一般財団法人軽井沢ニューアートミュージアムへの活動支援とともに、新たな事業の創造とビジネス展開を目指してまいります。

④ その他事業

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は62百万円（前年同期比53.6%減）、セグメント損失は8百万円（前年同期はセグメント利益7百万円）となりました。

その他事業は、株式会社ニューアート・クレイジーにおいて、ゴルフの一流シャフトブランドである「CRAZY」の認知拡大及び普及を図ると同時に新製品や新ブランドの開発に力を入れており、単なるシャフトメーカーからトータルのゴルフクラブの完成品メーカーへの成長を図っております。

なお、前年同期に連結子会社であったIT関連事業の株式会社ニューアート・テクノロジーについては、2018年12月に当社が保有していた全株式を第三者へ売却し、連結子会社ではなくなりました。

(注) 各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

なお、当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) (千円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)
ブライダル ジュエリー事業	宝飾品の販売・サービス	3,569,270	39.6	77.1
全身美容事業	エステティックサロンのサービス・物品販売	764,494	22.9	16.5
アート事業	美術品等の販売	237,984	△58.9	5.1
その他事業	ゴルフ用品の販売等	62,063	△53.8	1.3
合 計		4,633,812	19.0	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 3. 「ブライダルジュエリー事業」は、ブライダルジュエリー販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービス及びファッションジュエリー販売の売上となっております。
 4. 「全身美容事業」は、エステ施術サービス、化粧品、栄養食品及び美容機器販売の売上となっております。
 5. 「アート事業」は、美術品販売の売上となっております。
 6. 「その他事業」は、ゴルフクラブ用カーボンシャフトの製造、ゴルフ用品の販売等による売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比3億36百万円増加(前連結会計年度末比3.0%増)し、117億15百万円となりました。これは、現金及び預金の増加11億39百万円及び受取手形及び売掛金の減少7億17百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比1億69百万円減少(同4.3%減)し、37億41百万円となりました。これは、減価償却累計額の増加により有形固定資産の減少36百万円、繰延税金資産の減少65百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比1億66百万円増加(同1.1%増)し、154億57百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比2億89百万円増加(前連結会計年度末比4.2%増)し、72億35百万円となりました。これは、短期借入金の増加7億円、未払金及び未払費用の増加71百万円、未払法人税等の減少5億11百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比70百万円減少(同8.1%減)し、8億円となりました。これは、長期借入金の減少52百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比2億19百万円増加(同2.8%増)し、80億35百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比52百万円減少(前連結会計年度末比0.7%減)し、74億21百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益4億33百万円がありました一方、剰余金の配当3億25百万円及び自己株式の取得による自己株式の増加1億90百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は48.0%(前連結会計年度末は48.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月7日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,002,017	3,141,208
受取手形及び売掛金	2,447,329	1,729,563
商品及び製品	6,596,204	6,634,298
仕掛品	75,750	66,121
原材料及び貯蔵品	152,734	155,082
前払費用	124,903	137,725
その他	212,494	87,431
貸倒引当金	△232,172	△235,852
流動資産合計	11,379,263	11,715,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,009,385	985,151
機械装置及び運搬具(純額)	12,287	12,189
工具、器具及び備品(純額)	771,061	762,769
リース資産(純額)	120,237	115,124
建設仮勘定	940	2,640
有形固定資産合計	1,913,911	1,877,874
無形固定資産		
のれん	347,951	340,715
その他	68,568	64,826
無形固定資産合計	416,519	405,542
投資その他の資産		
長期貸付金	347,740	347,740
繰延税金資産	196,144	130,759
敷金及び保証金	1,095,984	1,094,827
その他	465,002	477,842
貸倒引当金	△524,021	△592,796
投資その他の資産合計	1,580,849	1,458,373
固定資産合計	3,911,280	3,741,790
資産合計	15,290,544	15,457,370

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320,002	316,334
短期借入金	2,626,800	3,327,600
1年内返済予定の長期借入金	790,868	748,783
リース債務	30,643	30,824
未払金及び未払費用	719,803	791,229
未払法人税等	783,466	272,357
前受金	1,407,764	1,471,567
その他	266,368	276,861
流動負債合計	6,945,716	7,235,557
固定負債		
長期借入金	313,214	261,125
リース債務	88,650	80,995
退職給付に係る負債	207,397	210,738
その他	261,551	247,555
固定負債合計	870,814	800,415
負債合計	7,816,531	8,035,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,153	2,376,153
利益剰余金	2,672,615	2,780,645
自己株式	△202,117	△392,835
株主資本合計	7,463,903	7,381,215
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,109	40,182
その他の包括利益累計額合計	10,109	40,182
純資産合計	7,474,012	7,421,398
負債純資産合計	15,290,544	15,457,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,892,933	4,633,812
売上原価	1,698,830	1,623,111
売上総利益	2,194,102	3,010,700
販売費及び一般管理費	2,025,560	2,180,585
営業利益	168,541	830,115
営業外収益		
受取利息	141	43
貸倒引当金戻入額	431	—
その他	354	1,333
営業外収益合計	927	1,376
営業外費用		
支払利息	9,290	8,870
貸倒引当金繰入額	—	5,895
為替差損	5,952	49,324
その他	34	1,511
営業外費用合計	15,277	65,601
経常利益	154,191	765,890
特別利益		
固定資産売却益	—	1,328
特別利益合計	—	1,328
特別損失		
固定資産除却損	5,168	—
その他	600	—
特別損失合計	5,768	—
税金等調整前四半期純利益	148,423	767,218
法人税、住民税及び事業税	107,462	267,858
法人税等調整額	△28,853	65,384
法人税等合計	78,609	333,243
四半期純利益	69,814	433,975
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,814	433,975

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	69,814	433,975
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,316	30,073
その他の包括利益合計	△3,316	30,073
四半期包括利益	66,497	464,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,497	464,049
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月7日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、当第1四半期連結会計期間において、自己株式が190,707千円増加しております

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	全身美容事 業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,557,639	621,891	579,141	134,259	3,892,933	—	3,892,933
セグメント間の内部売 上高又は振替高	367	—	—	78	445	△445	—
計	2,558,006	621,891	579,141	134,338	3,893,378	△445	3,892,933
セグメント利益又は損 失(△)	394,417	△118,857	21,652	7,402	304,615	△136,073	168,541

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	全身美容事 業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,569,270	764,494	237,984	62,063	4,633,812	—	4,633,812
セグメント間の内部売 上高又は振替高	730	3,339	—	202	4,271	△4,271	—
計	3,570,000	767,833	237,984	62,266	4,638,084	△4,271	4,633,812
セグメント利益又は損 失(△)	994,544	21,765	△14,395	△8,290	993,623	△163,508	830,115

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「ジュエリー事業」及び「エステ事業」の報告セグメントの名称を、「ブライダルジュエリー事業」及び「全身美容事業」に変更しております。これは、当社グループが行う事業をより適切に表現するためによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称を記載していません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。